

テレビ番組表からみた現代社会の諸相（その3）

現代社会の総理解のために

伊佐治大陸

Aspects of Modern Society Viewed from the Angle of TV Programs (3)

For All-Round Understanding of Modern Society

Tairiku ISAJI

はじめに

かつて日本が前近代的な農村社会であった頃、人々の年間生活は「ハレ」と「ケ」の世界に二分され、両者が一定の周期的リズムをもって繰り返されていた。単調かつ厳しい現実の「ケ」の世界に、それをふと忘れさせなごませてくれる「ハレ」の世界が組み込まれていたのである。人々は「ケ」の世界に「ハレ」の世界を挿入することによって、生活の活性化を図る知恵を身につけていた。しかし、進展する現代日本の産業化社会・大衆化社会において、TVは我々に日常的に「ハレ」の世界を与え続けている。TVは毎日四六時中、我々に「祭り」を提供しているに等しい。しかし「祭り」のスケジュール表としてのTV番組表をよく目をこらして見てみると、そこには現代社会の総理解にとって重要なキーワードがいくつか隠されている。一般市民・大衆にとって何の変哲もなくなってしまう「祭」としてのTV——このTVの番組スケジュール表から抽出して出来上がった一枚の絵が、Fig. 2の「キーワード・ピクチャ」である。

さて本稿は、「テレビ番組表からみた現代社会の諸相」（その2）の「はじめに」で述べたように、'81年7月～'82年6月のTV番組表から抽出して構成されたFig. 2の「キーワード・ピクチャ」の後半部分を扱うものである。（その2）ではブロックI～IVまで「国際問題」「時事問題」「学芸常識」「現代科学」をめぐるキーワード31に関する文章化を行なった。引き続き、本稿ではブロックV～VIIIの「現代医学」「現代社会」「スポーツ・教育問題」「TVに登場した7人の人物」にかかわるキーワード29について扱っていく。

できるだけキーワードの由来や語源の意味を尋ねつつ、簡潔・明瞭な文章化を心がけたい。新聞の記事にたとえるならば、各キーワードの説明文は「タイトル部分」でも「ボディ部分」でもなく、ちょうど「リード部分」に対応する。キーワードをさらに深く掘り下げるためには「ボディ部分」にも喰い入っていかざるを得ないが、現代社会の総理解という本稿のねらいからすれば、説明の文章化は簡潔な「リード部分」だけで十分だと考える。一つ一つのキーワードの掘り下げのためには、別のスタイルによる研究を待たなければならない。

文章化を試みるに先立ち、一つの点だけについてふれておこう。それはブロックVIIIについてである。「TVに登場した7人の人物」の背後には、「アラファット議長」「アルビン・ニレジハージ」「エレン・ケイ」「オースチン」「クロード・チアリ」「サダト大統領」「サッチャー」「シモース・ベイル」「ゼノ修道士」「田中英光」「チャールズ皇太子」「趙紫陽」「テンジン・ノルゲイ」「戸塚廉」「バーンシュタイン」「ヒラリー卿」「二子山勝治」「ブラマンク」「ペルチャーニ」「ホロビッツ」「ミッテラン」「南方熊楠」「ライザ・ミネリ」の合計23人が精選もれしている。

Fig. 2 Key Words Picture II

ブロックⅠのキーワード	アジア問題	(1)	ASEAN
「国際問題」	石油問題	(8)	OPEC
	国際政治	(19)	サミット
	国際紛争	(41)	ナミビア
	領土問題	(47)	フォークランド
		(52)	北方領土
ブロックⅡのキーワード	防衛問題	(23)	シーレーン
	軍事問題	(45)	P3Cオライオン
	社会福祉	(2)	アビリンピック
		(54)	ホームヘルプ事業
		(9)	オーマン
「時事問題」	世界時事	(14)	QC
	経営問題	(28)	戦艦大和
	海底探査	(31)	地中海ミバエ
	貿易摩擦	(57)	ヤンバルクイナ
	野鳥	(5)	エスコリアル
ブロックⅢのキーワード	建築物	(6)	エルミタージュ美術館
「学芸常識」	数 学	(17)	ケーニヒスベルクの橋
	楽 器	(32)	チャランゴ
	化 学	(30)	タリウム
	園芸植物	(16)	グロキニシア
	地理・生物学	(12)	ガラパゴス
	動 物	(34)	セラピア
		(39)	ナウマン象
ブロックⅣのキーワード	交通問題	(36)	東北新幹線
「現代科学」	現代工学・情報化社会	(53)	ホバークラフト
		(7)	OA
	エレクトロニクス	(20)	産業用ロボット
		(35)	テレビ・ウォッチ
		(44)	光ファイバー
ブロックⅤのキーワード	光学機械	(40)	NASA
	宇宙開発	(10)	角膜移植
	医 学	(13)	川崎病
		(26)	脊柱側弯症
		(24)	心身症
「現代医学」	育 児	(33)	つつが虫病
	家庭園芸	(46)	ヒスタミン
	生 化 学	(27)	ゼロサム社会
	時代感覚	(15)	クレーマー・クレーマー
	アメリカ映画	(49)	ブリキの太鼓
ブロックⅥのキーワード	西ドイツ映画	(37)	Drスランプ
	漫 画	(38)	トットちゃん
	出版・マスコミ	(43)	人間万事塞翁が馬
	美 容	(55)	ボンパドール
	社会風俗	(18)	コインランドリー
ブロックⅦのキーワード	スポーツ	(60)	ルービック・キューブ
		(4)	エリカ号
		(25)	ストレッチング
		(50)	フリズビー
		(11)	家庭内暴力
「スポーツ・教育問題」	教育問題	(51)	偏差値
		(21)	集合型高等学校
		(22)	シュタイナー学校
		(3)	アルビン・トフラー
		(29)	ダイアナ妃
ブロックⅧのキーワード	未 来 学	(48)	福井謙一
	イギリス王室	(42)	西本幸雄
	ノーベル化学賞	(56)	マッケンロー
	スポーツ (野球)	(58)	横溝正史
	スポーツ (テニス)	(59)	ライシャワー
「TV に登場した7人の人物」	推理小説		
	防衛問題		

ブロックVのキーワード「現代医学」の理解

角膜移植

角膜が悪くて目の見えない人に死んだ人の角膜を移植して目が見えるようにする方法である。角膜移植の起源は古く、すでに18世紀の手術書に混濁角膜の一部を切除して透明な物質と置換すればよいことが記載されている。1928年、ソ連のオデッサ医大のフィラトフ(Filatov)教授が死体から採取した角膜を使用して移植に成功したことは画期的な発見であり、以来、角膜移植は急速に発展した。

日本の眼科医学もこの方法を取り入れ、全国におよそ100の病院に「眼の銀行」(eye bank)を設け、死後自分の角膜を盲人に寄贈する人の登録を受け付けている。角膜移植は、アイバンク発達に伴い、また社会的認識も深まって臨床的にも学問的にも隆盛になりつつある。最近、摘出後48時間以内の角膜よりも一週間前後保存した眼球を使用するほうが良い成績を得られることが判明した。

川崎病

正式名を「急性熱性皮膚粘膜リンパ症候群」という小児病である。本態は不明であるが、抗原体反応による全身性のアレルギー性動脈炎によるものであるらしく、溶血性連鎖球菌感染症の一種と考えられている。病理解剖学的には乳児多発性結節性動脈炎と区別できない。発病は生後半年から2歳までに集中しており、患者が年々増加している。

'67年、日赤医療センター小児科の川崎富作医師の発表以来、通称「川崎病」と呼ばれている。突然発熱して38度5分以上の高熱が5日以上続き、目が充血する。手足が赤く腫れ上がり背中や腹に赤い乾性湿疹が出たり、首のリンパ腺肥大と痛みを伴う。唇や口中も腫れ、舌にポツポツができる。突然死につながる心臓後遺症を起こしたりする。発病の8割は4歳以下で、ピークは一歳前後である。副腎ステロイド剤が有効である。外国にもわずかの症例が見られるが、どうも日本特有の病気らしい。川崎病の原因が「ダニ」「ウィルス」「細菌」「疫学的原因」のいずれなのか、その科学的解明が期待されている。

脊柱側弯症

脊柱が側方つまり前額面に弯曲した状態をいい、通常は脊椎捻転を伴う。一次性弯曲(primary curvature)を代償するsecondary curvatureを生ずるため、普通の側弯はS字状を描く。

学校の身体検査では、背中側の胴体を見て脊柱正、不正を診断することが従来行われていたが、首筋から腰部に及ぶ脊柱がS字状に曲がっている者が年々増加し、特に小・中・高校生に高率に発見されている。早くからアメリカで増えて問題にされていたが、幼少期から歩行、走行の運動が不足するようになったための現代病の一つと考えられる。

心身症

心と体を一元的に追求していく心身医学の対象となる疾患が心身症である。心理的な原因によって起きる身体症状の総称であって、精神身体症ともいう。狭義には心的要因によって生じた高血圧や胃潰瘍の一部が心身症に属する疾患であるが、広義には精神的因子が広く関与している身体疾患をさす。

症状は多様ですべての器官系統に現れる。幼児・児童では腹痛が多く、他に嘔吐、下痢、頻尿などの症状も心理的要因によって起こる。アレルギー疾患とされるぜん息やじんま疹も心理的影響によって生ずることが多い。心身症がはっきりした場合には、子供には遊戯治療法を実施すると同時に、養育態度修正のために母親へのカウンセリングが必要となる。養育態度が過保護、溺愛または過干渉、放任に傾いているからである。

なお、ジェットエンジンの逆噴射という操縦ミスによって、'82年2月、羽田沖事故(羽田沖で日航DC8型機墜落により乗客24人が死亡)を起こした全日航片桐機長の場合も重度心身症患者だといわれていたが、その後の精神鑑定によって正真の精神分裂症であったことが判明した。

つつが虫病

最近全国的に増えている急性発疹性熱性疾患で、つつが虫幼虫が媒介するリケッチア性の伝染病である。幼虫に刺されると約1週間後にその部分の皮膚に赤い小さなしこりができて、これが小さな潰瘍になり、

筋肉痛や高熱を伴って全身に赤い小発疹ができる。つつが虫は体長0.3 mmほどで野ネズミなどに寄生するダニの一種である。走り回った野ネズミが木や草むらにダニをつけ、その植木にふれた人を刺すと感染するらしい。

かつては秋田、山形、新潟などの農村部のみに見られた特異な伝染病として知られ、'50年に116人が死亡した記録がある。近年は富山、鹿児島へと発生地域が広がり、'81年の厚生省調査では45都道府県で患者388人(うち2名死亡)が発生している。'82年5月には岐阜県でも1人死亡した。家庭園芸の盛んな今日では、発生の地域的広がりには農村から都会にも及びつつある。植木鉢の土や園芸用土の中にもつつが虫がいるらしい。植木などの手入れ後はよく手を洗うこと、刺されても早めに治療すれば命に別条はないので医師の手当を受けること、治療法としてはテトラサイクリン系の抗生物質投与で完治するので不審に思ったらすぐ医師に相談することが必要である。

ヒスタミン

動植物界に広く分布する活性アミンという白い結晶物で C_5H_9N 蛋白質の分解によって生ずる。麦角や筋肉、脳下垂体、その他の動物諸器官の中に含まれる。ヒスタミンは、胃液分泌促進、子宮筋収縮、毛細血管の透過性上昇などの作用があり、血管内に注射すれば血管弛緩を起して血圧が低下する。ヒスタミンはショック、アレルギー、炎症反応時に放出されると考えられている。

薬学で用いられる抗ヒスタミン剤(anti-histamine drugs)はアレルギー症の主要因子と考えられるヒスタミンに抵抗作用のある物質で、体内のヒスタミンの作用を消す薬剤である。

ブロックⅥのキーワード「現代生活」の理解

ゼロサム社会

ゼロ成長に陥った経済社会、産業界全体の生産性がストップした社会を意味し、マサチューセッツ工科大の経済学者レスター・C・サロー教授の書いた著書(TBSブリタニカ)の題名である。勝負ごと(ゲーム)では勝者と敗者の点数の合計(サム)はプラス・マイナス・ゼロとなる。このゼロ・サム・ゲームの理論を社会経済現象の分析に適用して、彼は現代アメリカをゼロサム社会だと定義する。彼によれば、福祉政策が進めば貧困者がプラスとなる反面、勤労階級特に高額所得者がマイナスをかぶる。所得の全般的増加があれば、この問題は解決するが、低成長下でこの状態が続くと中産階級が消失し社会的混乱が生ずるのだという。税金と政府や防衛費分担の問題についても同じ傾向がみられ、大きな政府を望めばそのサービスに見合っただけの多くの税金を取られるし、軍事的脅威を強調して防衛費の増大を図れば社会的投資や福祉費など生活予算の縮小を招来する。結局、どのような社会を望むかは国民の選択にまかされているが、問題解決のカギは、これ以上の繁栄が期待できない社会でいかにして分配の公平性をはかるかということにつく。ゼロサム社会の停滞を打破するには、貯蓄を投資に結びつけ、経済成長をプラスにする必要があると彼は説く。アメリカ、日本など先進国共通の今日的課題である。

クレマー・クレマー

ロバート・ベントン監督、ダスティン・ホフマンとメリル・ストリープ主演のアメリカ映画である。離婚、子育ての問題を取り上げて、アカデミー賞を5部門受賞した。日本でも'80年春に公開され、4カ月のロングランが続く大ヒットとなった。上映以来、社会的反響が大きく、「クレマー家庭」(父子家庭)という新語を生んでいる。

自分自身の人生を求めることに目ざめた妻が離婚して家を出る。残された夫は6歳の息子を抱えてママメしく養育に専念するうち父子関係は安定していく。しかし仕事がおろそかになり会社はクビになる。自立した妻は子供を引き取りたいと訴訟を起し、法廷の争いで夫は敗れる。法廷でのセリフ、妻「なぜ、女はなみの野望を持つといけけないの?」、夫「僕は知りたい。なぜ女は、女たるがゆえによき親たるのか?」——これはリブ運動の本質に迫るやりとりである。しかし結局は妻のほうから自ら身を引いていくのが映画の筋立てである。アメリカでは一般化しつつあるこの種の家族関係は、はたして明日の日本の姿ともなるであろうか。妻はなぜ自立してはいけけないのか、夫はなぜ養育者でいけけないかを問い直す、密度

の濃い複雑な心理のヒダを持った映画である。

ブリキの太鼓

戦後西ドイツの代表的作家で、政治的にも積極的に活動しているグラス (Günter Grass, 1927~) が '59年に発表した作品である。これは人間の醜悪さを独自のリアリズムで描いたドイツ年代記である。

監督フォルカー・シューレンドルフによって映画化されて注目され、'79年カンヌ映画祭でグラン・プリを、第52回アカデミー賞 (アメリカ) でも外国映画賞を受賞した。映画「ブリキの太鼓」は近年世界的に評価の高い「ニュー・ジャーマン・シネマ」の一つである。なお、この「ニュー・ジャーマン・シネマ」に属する「マリア・ブラウンの結婚」「リリー・マルレーン」「ヴェロニカ・フォスのあこがれ」などを作った映画監督R.W.ファスビンダーは、'82年6月、36歳の若さでミュンヘンの自宅にて急死した。

Dr. スランプ

「週刊少年ジャンプ」(集英社)に連載されているギャグ漫画の題名である。Dr スランプには近視の大きなメガネをかけたロボットの子アラレちゃんが登場し、弟分のガッチャンとともに強大な力を無邪気にふるって、生みの親の則巻千兵衛博士をはじめペンギン村を騒動に巻き込む。頭でっかちで思ったことをすぐ実行するアラレちゃんは、発明の天才の則巻博士が独身生活の寂しさをまぎらすために妹役として作り出した超ド近眼のロボット少女であり、本来はワキ役として登場した。しかし独特の可愛さとちょっぴり意味不明のアラレ語「んちゃ」「ばいちゃ」「おはこんばんちわ」「ほよよ~」「めちゃんこ」などを使って、その入気はドラえもんにとってかわった。連載開始後、爆発的な人気で'81年春にはテレビアニメ化された。Tシャツ、コップからタオル、おもちゃにいたるまで、子供商品のキャラクターとしてもアラレちゃんは登場している。

単行本は総発行部数1,800万部を越え、作者の漫画家鳥山明 (愛知県在住、26歳) は56年度所得が5億4千万円と一躍愛知県 (名古屋市を除く) 1位の長者となった。56年度高額所得者として全国35位の彼は、まさにアニメ時代の申し子である。

トットちゃん

'81年のノンフィクション出版物の最大の話は、TVタレント黒柳徹子がかいた「窓ぎわのトットちゃん」(講談社)である。自由で個性的なトモエ学園の教育とその体験を描いた「窓ぎわのトットちゃん」は500万部突破という出版史上最高の超ベストセラーとなり、英国版(「TOTTO-CHAN — The Little Girl at the Window —」ドロシー・ブリトン訳)も出版された。

著者が子供の頃、自分のことをテツコといえずトットといったこと、チンドン屋さんが来ないかと授業中に窓ぎわで待っていたことから本のタイトルが生まれたという。わずか小学校1年生で退学になったトットちゃんと、型破りでおかしなトモエ学園めぐり合いが読者を引きつけ、陽気で無邪気で好奇心いっぱいのトットちゃんは、今や子供達の世界のアイドルである。“You're really a good girl, you know.”と著書は時代を越えて生き続ける「愛の教育」で貫かれている。48歳の著者は2億円の印税をもとに社会福祉法人「トット基金」を設立し、ろうあ者のプロ劇団結成にエネルギーを注いでいる。

人間万事塞翁が馬

CBC TVで放映されたドラマ「人間万事塞翁が馬」は、'81年7月に第85回直木賞を獲得した参院議員青島幸男の作品(新潮社刊)である。戦中戦後の混乱期の下町・日本橋を舞台に描かれた庶民の昭和史である。人間の禍福はあざなえる縄の如くで、何が幸いか、何が不幸か、神ならぬ身の知る由もないとの意味を持つ古書「淮南子」に見られる有名な故事「人間万事塞翁が馬」をもじってつけられたタイトルである。淮南子は漢の淮南王劉安の撰で21巻あり、老荘思想を中心にして儒教思想を交えた古書である。内容は天文暦数、神話伝説、兵家、法家の言など広汎にわたっている。

「人間万事塞翁が馬」とは何か。「塞上ニ近キ人術ヲ善クスル者アリ馬故ナクシテ亡ゲテ胡ニ入ル人皆コレヲ弔スソノ父曰クコレ何ゾ乃チ遽カニ福トナラザルヲ知ランヤト居ルコト数月ソノ馬胡ノ駿馬ヲ将イテ帰ル人皆コレヲ賀スソノ父曰クコレ何ゾ乃チニワカニ禍トナラザルヲ知ランヤト家良馬ニ富ムソノ子騎ヲ好ミ墮チテソノ髀ヲ折ク人皆コレヲ弔スソノ父曰クコレ何ゾ乃チ福トナラザルヲ知ランヤト居ルコト一年

胡人大イニ塞ニ入ル丁壮者ハ弦ヲ引イテ戦ウ塞ニ近キ人死スル者十二九コレ独り跛タルノ故ヲ以テ父子相保ツ故ニ福ノ禍トナリ禍ノ福トナル化極ムベカラズ深測ルベカラザルナリ。」なお魯迅の作品「阿Q正伝」の中にも「人間万事塞翁が馬」の表現が見られる。

ポンパドール

ポンパドールとは前髪を上の方へ流す手法を用いた洋風髪型の一つである。前髪を高くする婦人調髪型であり、額から撫で上げる男性の理髪型でもある。

フランス・ルイ王朝全盛期のルイ15世の愛人ポンパドール (Marquise de Pompadour, 1721~64) が愛用した髪型がそのルーツである。美術愛好家の彼女は当時の芸術家たちの強力なパトロンでもあったが、前髪を高くした独特のスタイルで華やかな貴族の宮廷界に君臨した。この髪型が現代に甦っている。束髪のようなワイルドルックの洋髪ポンパドールは、意外と着物にもよく似合う。女性なら誰でも一度は、美容院で前髪をポンパドール風に高くセットしてみたいものらしい。

コインランドリー

coin と laundry をくっつけた和製英語で、硬貨を投入すると全自動で洗濯が行なえる機器 (硬貨投入式自動洗濯機) またはそれを備えたセルフサービス洗濯屋のことである。大阪の電機メーカーが自動販売機のように硬貨を入れると動く全自動の洗濯機と乾燥機の組み合わせたものを作った。これが貸し洗濯機として、ビジネスホテル、病院、アパート、寮さらに大衆浴場の副業用にコインランドリーの名で10年前頃から普及した。現在、全国で7~8,000カ所、約4万台が設置されているが、監督・指導の機関も法令もない。150円くらいでワイシャツ、下着類10枚以上が40分ほどで洗い終り、100~150円で乾燥機を使ってすぐ乾かせる。巡業中の力士やフンドシかつぎにとって、コインランドリーは文明の利器である。一方、クリーニング業界は注文減少とあって厚生省に規制を求めている。

ルービック・キューブ

ハンガリーのエルノー・ルービック教授が考案したものと言われ、立体パズル、知恵の六面体とも呼ばれる。'80年8月、日本に上陸以来、爆発的ブームとなって約230万個が売れたと言われる。発売元はグッコちゃん、オセロゲームを取扱ったツクダオリジナルで1個1,980円の値段であるが、売行がすごいことからニセモノが出たりした。新しく売り出されているルービック・キューブ・リベンジの値段は2,800円である。ルービック・キューブはアメリカ、イギリスでも大流行した。

ルービック教授の次の新製品はマジック・スネーク (魔法の蛇) だという。これは、三角形の面を持つ正多面体がジョイントでつなぎ合わされており、丸くなったり、一直線になったりしてスネークの形をとる遊具である。

ブロックⅦのキーワード「スポーツ・教育問題」の理解

エリカ号

親子3人と仲間のジェニファー夫妻が乗ったヨット「エリカ号」(長江裕明艇長) が日本出航後59日目の'81年9月9日、太平洋を横断してアメリカに無事到着した。艇長の一人娘絵梨佳ちゃん(4歳)はヨットによる太平洋横断最年少となった。

エリカとは絵梨佳ちゃんからとられたヨットの名前であるが、本来は欧州とくにイギリス北部に多いツツジ科の植物で荒地などに茂る灌木である。ヒース (heath) ともいい、淡紅・紫白色の釣鐘型の花が咲く。荒波にもまれながらも無事太平洋を横断した「エリカ号」のように、絵梨佳ちゃんはこれからも人生の荒波を乗り越えて行かねばならない。

ストレッチング

ストレッチングの日本上陸は7~8年前であるが、'81年10月、NHK教育TVの「スポーツ教室」で紹介されて以来、注目されつつある体操の一種である。ストレッチングに関する本はすでに10冊近く我が国で出版されている。アメリカで考案されたこの体操は筋肉と筋肉をストレッチする(伸ばす)ことを目的とし、その動きはヨーガや太極拳に似ている。ジョギングをはじめ各種スポーツのウォーミングアップや

クーリングダウン（整理運動）の時にやると、肉離れなど負傷の予防効果がある。腰痛、肩こりの予防・治療にも役立つので、四十肩や腰痛に悩む主婦にもうってつけの体操である。腰痛を何とかしたいと願う熟年ビジネスマンや働きバチのストレス解消にもなる。今日では学校体育にも導入されつつある。

ストレッチングはアメリカ式健康法でもある。身体の各部分をほどよく伸ばして血行をよくさせ心身ともにリラックスさせることによって健康保持につながる。特別な器具もいらず、場所もとらず、相手も必要としない健康法である。

自分の柔軟性に合わせてゆっくりやること、決して痛みをこらえたり無理をしないこと、身体を曲げる時ははずみや反動をつけないこと、自然な呼吸法でやり、話しながら楽な気持ちでやること、笑顔で10～30秒間、一つの体操を続けること——これがストレッチングのポイントである。ストレッチングの元祖ボブ・アンダーソンはアメリカ、カリフォルニア州生まれの37歳で、同州立大ロングビーチ校で体育学専攻の経歴を持つ。ジーン夫人との間に一女を持つ彼は、'81年12月、日本にも訪れてストレッチング普及に努めた。

フリズビー

フリズビーとはキャッチボールのように投げたり受け取ったりして遊ぶ縁のある円盤状遊具である。プラスチック製のこの円盤を投げ合って飛距離を競ったり、相対する相手と投げ方・受け方のテクニックを競う競技に用いられる。誰にも手軽に扱える円盤の利点を生かした競技であり、そのテクニックの種類も多岐にわたる。競技方法が数多くあるため、勝敗の決め方もそれぞれ異なっている。

1920年頃、アメリカ・エール大学の学生がフリズビー・ペーカーのパイ焼き皿を投げ合ったのが起源であるらしい。1950年、フレット・トムソンが従来の金属性円盤をプラスチック製へと改良し、ゲーム化を図るとともに普及に努めた。日本には'69年秋に紹介され、以来若者の人気を呼んでいる。

家庭内暴力

思春期の子供が家庭内で主として親を対象にしてふるう暴力である。最近では殺人事件を引き起こすほどに深刻化するケースもみられ、'80年11月に川崎市で2浪の次男が睡眠中の両親を金属バットで殴り殺した事件は衝撃的であった。お金や勉強のことで叱られたし返しとしての肉親の殺人であり、エリート一家に生じた受験浪人生のショッキングな家庭内暴力事件であった。家庭内暴力を引き起こす子供は、一般にわがままで、欲求不満耐性が弱く非社会的、反抗的である。一人っ子や甘えん坊にも多い。家庭における幼児期の過保護、学童期以降の過干渉、戦後における父権の失墜、共働き家庭における親子対話の欠如、激化する受験競争、学歴の偏重など子供をめぐる日本社会の独特な環境が家庭内暴力の原因だと考えられる。

最近、行政官庁でもこの問題は取り上げられており、総理府の「家庭内暴力に関する調査研究」（'80年）、警視庁の「家庭内暴力の認知状況」（'81年）などの発表がある。思春期は年齢的にも動揺しやすく、精神医学者小此木啓吾の表現を借りると、心の中を「嵐」が吹き荒れる時期であって、家庭内暴力の原因と対策は複雑難解で現代社会における一つのアポリアである。一方、これと反対に子供に対してすぐ暴力をふるう親も少なくない。外では劣等感が強く、職場でのストレスをうまく制御できずに、無力感を家庭で爆発させて子供や家族に暴力をふるう親がいる。現代の家庭病理を象徴するこの暗い暴力は親と子供の双方に見ることができる。

偏差値

統計用語で、一定の標準となる数値からどの程度ずれているかを示す数値である。学力を測定する場合は正式には学力偏差値という。個人の得点をX、集団の平均値をM、標準偏差（集団全体の得点のちらばりの度数）をSDとすると $X - M / \frac{1}{10} SD + 50$ で示される数値である。受験者全体の平均的位置（基点）の偏差値を50とし、上限が75、下限が25で50から上の数値ほど上位ランクに位置する。こうして出される数値は集団の中の相対的位置を示し、異なる試験問題の結果を比較するのに便利である。分布が統計学でいう正規分布に近い時、この数値によって各受験者が上位から何％目に属するかがわかる。偏差値は、単なる平均点と得点との比較の場合に較べて、相対的評価としてはより客観的である。

大規模な模擬試験を実施するテスト業者が受験界に導入し、'70年代前半から全国的に広まった。テスト

業者が共通問題で中学生にテストを実施し、その成績結果から受験生がその地域内でどの程度の学力のランクにあるかを示す数値として用いられる。この偏差値が高校進学志望の際の評価のモノサシとして見られ、絶対化する風潮が惹起されている。しかし、偏差値は学力を測る絶対的な評価尺度ではない。

集合型高等学校

複数の高校を同一敷地内に一体的環境のもとに設置し、相互の交流・連携を認めて選択履修の幅の拡大を図ろうとする新しいタイプの高校である。従来の日本の教育施設内容は全国どこでもほぼ画一的であったが、今や各地が地域ごとの実情に応じて創意工夫することが求められる多様性の時代に入った。集合型高校は千葉、埼玉、神奈川の三県で構想され、千葉では高校団地とも呼ばれる幕張三校（北高、東高、西高）が千葉市幕張埋め立て地にて'80年春に開校した。生徒数は三校で約2,400人、いずれも普通科である。形式上は三校独立した高校であるが、校舎は全く同型で隣接し合っている。三校同居のメリットを生かし、連携プレーによる教育課程が実施されている。三校とも教育課程は類型（コース）制と選択制をとる。生徒は2年から志望・適性に応じて文科系、芸術系、理数系の3つの履修コースに振り分けられる。コース決定後も各生徒の希望により、受ける科目が選択できるシステムをとる。つまり類型制で自分の好むコースを選んだ上、ある程度は科目も選択できるしくみをとる。選択科目の履修では三校の連携プレーがなされ、相互乗り入れによる「統合授業」が行なわれる。

集合型高校の狙いは、生徒の選択幅を拡大し学力幅の広い層の生徒に充実した学校生活を送らせることにある。幕張三校の類型制、選択制の導入は教育課程の自由化を図る高校の新学習指導要領に沿うものであり、高校の未来図を先取りする実験校・モデル校を意味する。同時に、高校生急増地域における用地難解消の便法でもある。幕張三校は全国初の集合型高校であるが、既成の学校イメージからなかなか抜け出せない教育界にあっては、他の高校と違う教育課程や独自の学校づくりを各地方レベルで創意工夫することは歓迎されるべきである。

神奈川県でも、'83年春より二校分の規模を持つ「二校相互連携・施設共用方式」の集合型高校が発足する。独立した二校に、各々明確な特色あるコースが設置される。埼玉県でも'82年2月、「総合選択制高校」プランが発表され、'84年に三校分の集合型高校（生徒数3,240人）が伊奈町に開設される。三校分を完全に一校にまとめた「総合方式」が取られる。校長は一人で、校舎も六棟をつないで一体的に建設される。従来の学校の半分の規模で12学級の「ハウス」を六棟作り、各ハウ스에教頭を一人配置する。六つのミニ学校を一体的に運営する「ハウス制」が導入される運びとなっている。

シュタイナー学校

ドイツの思想家ルドルフ・シュタイナー（1861～1925）により1919年シュトゥットガルトに創設された私立学校で自由ヴァルドルフ学校ともいう。普通科、職業科の別なく総合教育を行なう初等中等課程一貫の12年制を採る。公教育カリキュラムに沿わない独自の授業方式のためナチス時代に一時閉鎖されたが、'45年再開、以後西ドイツのみでなく諸外国に学校創設が広がった。現在、西ドイツ、オランダ、アメリカを中心に約200校を数える。

シュタイナーの教育理念つまり人間観（人智学 Anthroposophie）によれば、人間は肉体、生命体、感情体、自我の4要素から成り、それらは0歳、7歳、14歳、21歳と7年間隔で順に独立する。各々の時が満ちるまで、各要素は目に見えぬ膜に保護されるかのような状態で十全な熟成をとげる必要がある。意志→感情→思考の順に進む3段階の課題をはたすと、人間は21歳の自我独立期に真の精神の自由を獲得する。彼の学校はこうした自由への教育（Erziehung zur Freiheit）を目標とする。教育活動はいくつかの特徴を持つ。クラス担任の8年間持ち上がり制により、6～14歳の子供の成長を一人の教師が全体的に見通して指導する。知的教科は同一教科を数週間にわたり連日2時間ずつ集中方式で学ばせるエポック授業をとる。抽象概念を学ぶ場合、子供が自分の身体の動きでこれを感じ得るように身体と感情を動員する学習を行なう。これは音楽を全身で感じ、肉体を楽器にして表現するという主張であり、身体を一種の楽器とするためのオイリュトミー（Eurythmie）の授業である。低学年各科の授業ではクレヨンで様々な形を描くフォルメンの授業がある。要するに、シュタイナー学校では教科書なしの授業が行なわれ、点数評価も忌避さ

れる。

知育偏重の現代日本の教育環境では、14歳以降にされるべき思考訓練の課題が余りに早期に開始される傾向がある。それは意志と感情の開花を阻害するばかりか、結局は知育をも枯死させる。シュタイナー学校への世界的関心の高揚は、近年次第に日本にも波及し、文献紹介も10冊近くを数えるようになった。

ブロックⅧのキーワード「TVに登場した7人の人物」の理解

アルビン・トフラー

経済誌「フォーチュン」の副編集長のポストにあるアメリカの未来ジャーナリスト、トフラー（1928～、ニューヨーク大卒）は、“Future Shock”（「未来の衝撃」）に続き“The Third Wave”（「第三の波」）を公にした。前著では新しい未来がつきつぎに押し寄せてくる時、人々がその変化を受けとめるのに十分な余裕も準備もなしに受ける衝撃について展開し、後著では、彼は今日の技術革新を「農業の開始」「産業革命」という歴史的大変革の波に続く人類史上第三の変革の波だと規定する。今起こっている技術革新をテコに第三の波が始まっており、彼によればその代表はマイクロエレクトロニクス（極微細電子工学）とバイオサイエンス（生物科学）である。彼は第三の波の先にある明るい未来社会を「プラクトピア」（practopia）だと予測する。この新造語は practical と utopia の合成語で、個人主義的な社会が表現されている。



映像1 アルビン・トフラー

そこでの住居は、コンピュータを利用して自宅で仕事ができるエレクトロニクス・コテッジである。勤務時間はフレックスタイム制によって各人ごとに自由に調整され、通勤地獄を解放する在宅勤務も導入される。工場での商品生産のための手作業労働はLSI、マイコン技術を駆使する産業ロボットが主に担当する。人々は単純労働から解放されて人間性を回復し、創造的労働にエネルギーを集中できる。サンフランシスコの南50kmにある新しい産業のメッカ「シリコンバレー」では、それがすでに実現されつつあるという。商品は規格化された少品種大量生産ではなく、多品種少量生産が可能となる。つまり人々の仕事も生産も各人のニーズに対応して多様化の方向をたどる。

この他に、太陽・海・風などの自然エネルギー利用の発電、都市の分散化、住民の地域社会への関与の増大、生涯学習の進展など新しいライフスタイルが予測されている。産業革命の変化に継ぐ第三の波の時代に、オフィス、家庭、学校における人々の生活は大変貌をとげるとされるが、はたして彼の描く多様な価値観を許容する人間性あふるる文明の創出は可能となるであろうか。

ダイアナ妃

13歳年上のチャールズ皇太子と結婚したダイアナ妃（1961～）は、ご成婚から11カ月目の'82年6月、20歳の若さで将来のイギリス国王となる男児を出産した。新王子は英王室でチャールズ皇太子に次ぐ王位継承第二位となる。

ダイアナ妃はピバルディの「四季」を聴きながらの出産であったが、ロンドン市内のセントメアリー病院を出産の翌日退院した。体重3,220gでブルーの瞳の新王子はウィリアム（the Prince William of Wales）と名づけられた。ダイアナ妃は英国貴族名門のスペンサー伯爵の3女で、結婚前は幼稚園の先生をしていた。ダイアナ（Diana）とはローマ神話に登場するジュピターの子で、「月の女神」を意味する。現代女性の「シンデレラ願望」をいとも簡単に実現した



映像2 ダイアナ妃

彼女も、今や一人の母親としての顔を持つこととなった。

福井 謙一

'81年秋、「フロンティア電子理論」の福井謙一教授へのノーベル化学賞の授与が発表された。ノーベル賞は江崎玲於奈、川端康成、佐藤栄作、朝永振一郎、湯川秀樹の各氏に続いて日本人で6人目であるが、化学分野では初の受賞である。受賞対象は彼が量子化学の分野で研究を進めてきた「フロンティア電子理論」である。正式には「フロンティア軌道理論」(Frontier orbital theory)と呼ばれる。彼は、電子の中には相手の分子が近づいてくると最前線(フロンティア)に出て主要な働きをするものがあることを理論的に予言した。この分子の通り道がフロンティア軌道で、化学反応は分子間のフロンティア軌道の対称性が一致した時に起こることを立証したのである。ノーベル化学賞を同時に受賞したホフマン(アメリカ)の提出した「ウッドワード・ホフマン則」も福井理論から出発している。

大正7年生まれ(1918年)の福井教授は、スウェーデンの首都ストックホルムで行なわれた授賞式に夫人とともに出席し、日本舞曲の流れる会場で、国王カール16世から賞状とメダルを受け取った。



映像3 福井謙一

西本 幸雄

'80年の日本シリーズでは、近鉄はセ・リーグ優勝の広島とプロ野球日本一を争ったが、先に王手をかけながらも3勝4敗で逆転負けした。近鉄の西本幸雄監督は阪急時代から数えて通算8度の日本シリーズに挑んだがいずれも敗退し、遂に監督生活20年の幕を閉じた。念願の日本一を一度も達成できず、「悲運の闘将」と呼ばれる。大正9年生まれ(1920年)の彼は、監督時代は頑固オヤジと選手達から恐れられていたが、今ではTVでビスケットのCMに登場して、若き娘さん達に囲まれながらニコニコ笑っている。



映像4 西本幸雄

マッケンロー

「ボルグだけが、ここへやってきて優勝をさらう人間ではない。」これは'81年ウィンブルドン・テニス選手権でジョン・マッケンロー(アメリカ)の発言である。彼は'78年の全米学生チャンピオンとなり、同年スタンフォード大を中退してプロ入りした。'79年から全米オープン3連覇をはたし、'81年ウィンブルドン(全英オープン)では王者の座をボルグから奪い取って、念願の初優勝をはたした。単・複両決勝に勝って名実ともに世界テニスの頂点に達したのである。



映像5 マッケンロー

利き腕の左からの強烈なサーブが彼の武器である。ジャッジにすぐ文句をつける審判泣かせの選手として知られ、「悪童」の異名を持つ。怒ってすぐラケットを放り投げる生意気で小憎らしい彼ではあるが、巨大な壁にひるまず立ち向かう頼もしいチャレンジャーとして、日本の若者層にも圧倒的な人気がある。

シャープな都会派感覚とチャレンジ精神に目をつけ、トヨタは'82年春発表の新車「ターセル・コルサ」のイメージ・キャンペーンに彼をニューカー・タレントとして起用した。以来、日本のマスコミ界のCMには彼の微笑があふれている。175cm, 69kgの23歳で、生まれは西ドイツ、ウィースバーデンである。'82年6月の第96回ウィンブルドンでは、決勝戦でジミー・コナーズ(アメリカ)と対決し、フルセットに持ち込む4時間14分の大接戦の末、ヴェテランのコナーズにその王座を譲り渡した。

横溝正史

明治35年神戸市に生まれ、中学時代から推理小説を耽読した。中学を終えて銀行に勤めたが、やめて大阪薬専に入った。卒業後は薬種商を営みつつ創作活動を続けた。戦前は耽美性の濃い作風で注目されたが、戦後は論理的な本格派推理小説に転じ、'46年に長編「本陣殺人事件」「蝶々殺人事件」を発表して戦後日本の推理文壇に多大の刺激を与えた。引き続き「獄門島」「八つ墓村」「悪魔が来りて笛を吹く」「悪魔の手毬唄」「病院坂の首縊りの家」など、論理的興味を中核として、日本の風土性や土着性の歪みを利用したトリックと名探偵「金田一耕助」の活躍で多くの読者を集めた。

特に'70年代は、推理小説のロマン性、怪奇性の欠落に不満の若い世代の読者にリバイバル・ブームが起こり、本格推理と土臭い怪奇の世界を持つ構構作品が歓迎された。その作品は映画化、TV化とタイ・アップされた宣伝を得たため、彼は圧倒的な読者を獲得した。喜寿を迎えながらもさらに新作長編に挑む意欲を見せていたが、年の瀬迫る'81年の暮に永眠した。79歳であった。

ライシャワー

'81年5月、ライシャワー（1910～）は、毎日新聞社とのインタビューで、核兵器を積んだアメリカ艦船が従来日本に寄港しており、日本政府もこれを承知しているとの爆弾発言を行なった。核兵器積載のアメリカの艦船、航空機が日本の領海、領空を通過したり一時寄港することは「核持込み」(introduction)には当たらないとの日米間の藤山一マッカーサー口頭了解が以前からあり、これに基づきアメリカ艦船は核を積んだまま日本に寄港しているのは常識だとの発言である。

非核三原則を国是とする日本政府は強く否定したが、アメリカ原潜あて逃げ事故（日昇丸事件）や日米合同演習中における漁船のはえなわ切断事故の後でもあるだけに、核持込みをめぐる国内の論議が活発化した。非核三原則で主張される核兵器持ち込まずの中には、原潜の一時寄港や領海通過は含まれていないかどうか、「introduction」の解釈は玉虫色である。ライシャワー発言が事実だとすると歴代政府は国民にウソをついてきたことになる。同時に、この発言には核持込みを既成事実化させようとの意図も含まれている。

ハーヴァード大教授のライシャワー博士は、'61年、戦後4代目の駐日大使となり、沖縄返還への下地づくりにも貢献した。幼ない日々を日本で過ごし、日本人を妻に持つ彼にとって、日本は第二の「ふるさと」である。日本人よりも日本をよく知るアメリカ人だと言えよう。

おわりに

本稿では、「Key Words Picture II」の後半部分に示されるブロックV～VIIIまでの「現代医学」「現代生活」「スポーツ・教育問題」「TVに登場した7人の人物」について扱い、そこに含まれる29のキーワードに関する強い認識のための文章化を試みてきた。別稿（その2）で扱った31ワードと合わせて合計60のキーワードは、こうして文章化の作業を終えてみると、その一つ一つが人格を持った生き物のように思われてくる。満足に文章化できたもの、資料不足とイメージ不足のため未熟なもの、将来いっそう大きく成長すると予測できるもの、静かに消え去っていくものなど、その一つ一つは、いわば担任教師が1年間受け持ったクラスの60人の生徒の顔に相似している。できのいいもの、悪いものさまざまである。全体として現代社会



映像6 横溝正史



映像7 ライシャワー

という一つの共通項でつながってはいるものの、それぞれがユニークなとりえを持っている。不十分な点は多々あるが、改善すべき点は次回の機会に譲ることとして、最後にいくつかの点についてまとめを行ない、しめくりにすることとしたい。

1. この1年間（'81年7月～'82年6月）のTV番組表で目立ったものは、「反核」「防衛費の突出」（防衛費のGNP比1%突破）、「フォークランド紛争」「レバノン紛争」「P3Cオライオン」「ナミビア問題」「シーレーン」「北方領土」「中国残留孤児」「非核3原則」など領土問題や紛争・戦争・防衛に関連するワードの出現であった。TV番組表には、現代社会における戦争・紛争の動きとそれに対する平和の運動が現われていたように思われる。「戦艦大和」の沈没場所発見とアジア諸国（中国、韓国）からの日本の「教科書検定」批判（実は、TV番組表に「教科書検定」のワードが登場したのは'82年8月10日以降であるため、本稿では扱われていない。）は、戦争と平和に関連する事象として象徴的であった。

2. 「OA」革新の進行と「産業用ロボット」の活躍はアルビン・トフラーの著書「第三の波」に展開される未来社会のあり方とも関連して、筆者にはとりわけ知的インパクトを与えてくれた。大げさに表現することを許されるならば、現代社会はマイクロエレクトロニクス社会に向かって変容しつつあり、我々の生活スタイル、学習のあり方、労働や仕事のしくみは従来のそれとは質の異なる世界へと足を踏み入れつつある。「心身症」や「家庭内暴力」は変容する現代社会の影の部分であり、「東北新幹線」や「光ファイバー」は現代科学が切り拓いた明るい部分のように思われる。人々には、現代社会の変容の徴候を適確に見抜くための観察眼が必要とされている。

3. ブロックⅧのキーワード「TVに登場した7人の人物」について一点だけ述べておかなばならない。現代社会を代表する一人の女性として「ダイアナ妃」を選出したのであるが、明らかに彼女よりも「シモーヌ・ベイル」を取り上げるべきであった。人物としての器が違うからである。何故なら、55歳の女史はヨーロッパにおける婦人の地位向上に大きな貢献をはたしてきた人物であり、'82年3月、日本にも訪れて東京と大阪で行なった講演では女性のまともな生き方と婦人の地位を考える上で人々に少なからぬ刺激を与えたからである。ちなみに、女史は第二次大戦下にアウシュビッツに送られた経験を持つが、戦後政治家として活躍し、ジスカールデスタン政権発足と同時にフランス政府の厚生大臣を務め、'74年には周囲の反対にも屈せず「妊娠中絶自由化法」を成立させた。'79年～'82年1月まではECの欧州議会議長の座についてヨーロッパの政治家としての活躍の場を持った。来日中の講演では、「家庭と職業、伝統と変革の間で、多くの女性たちは苦しんでいると思う」、「制度としては一応かちとれた平等の権利と、現実の不平等との矛盾の間で、まだ女性たちは、今後一・二世世代は苦しむのではないだろうか」などと女性問題と福祉をめぐる現状について語った。しかし、幼稚園の教師をやめて一まわりも年齢の違う「チャールズ皇太子」と結婚し、わずか1年以内に20歳で母親となった「ダイアナ妃」は、世界の暗いニュースの中において周囲にほのぼのとした明るい雰囲気をかもし出したことも事実である。闇ではなく光に、失意ではなく希望に目を向けがちな筆者の好みをご寛恕いただけたらと思う。

4. 最後に教育学とのかかわりについて述べ、本稿を閉じることとしよう。高等学校では、昭和57年度新学期より学習指導要領の全面改訂に伴う新カリキュラムが実施に移され、新設の必修科目として「現代社会」がスタートした。学習指導要領では「現代社会」の設けられた趣旨を次のように述べている。「知識を身につけさせるという考え方に立つのではなくて、生徒が自分の人生を生きていく上で、自分で考え、自分で判断できる力を育てる」のだとしている。

つまり、「総合的・多面的なものの見方、考え方や学び方を身につける」ことによって、高校生が正しい社会認識を培うことが「現代社会」のねらいとなっている。

筆者の考え方からすれば、新設「現代社会」は、生徒が一つのことから集中的に深く学習するのではなく、現代社会をトータルに学習することをねらっている。集中思考ではなく、むしろ拡散思考を訓練することによって現代社会を複眼的にトータルに理解できる力を育てようとしている。つまり、新設「現代社会」は生徒にマルチ思考（複眼思考）の訓練を提唱しているのである。一つの考え方、見方、思想に固まるのではなく、次々と押し寄せる現代社会の波を逞しく乗り越えていけるようにさまざまな見方、考え方、とらえ方を複眼的に理解し、平衡感覚のあるバランスのとれた判断力を育てようとしている。

こうした力を育てるためには、現代社会の縮図としてのTV番組表はかっこうの「教科書」である。切り換えの速い「TV世代」の生徒にとって、マルチ思考の訓練は意外と厳しいものではなく、むしろ興味あるものとして歓迎されるかもしれない。筆者自身も、テーマ「テレビ番組表からみた現代社会の諸相」について今後も継続的に探究し、現代社会に対するバランスある判断力を培って行きたいと考えている。TV番組表を素材としたワード群の「知の組み替え」作業を通じて、変転する現代社会という一つの対象に橋を架けてみたいと考えている。

参 考 文 献

別稿（その2）に示した1）～16）の参考文献のほか、下記の文献を参考とした。

- 17) 野口七之輔編：故事ことわざ辞典，新文学書房（1967）
- 18) 川端康成他編：新潮日本文学小辞典，新潮社（1968）
- 19) 山田和夫監修：映画の辞典，合同出版（1978）
- 20) NANZANDO'S MEDICAL DICTIONARY — 南山堂医学大辞典（第16版），南山堂（1978）
- 21) 大石三四郎監修：スポーツ用語辞典，成美堂出版（1979）
- 22) 読売年鑑56年版—別冊分野別人名録，読売新聞社（1981）
- 23) 読売年鑑57年版—別冊分野別人名録，読売新聞社（1982）
- 24) 三好行雄他編：近代日本文学小辞典，有斐閣（1982）
- 25) A.トフラー，NHK取材班：写真でみる第三の波，日本放送出版協会（1982）
- 26) 「朝日新聞」1982年3月27日号

掲載した写真の出所

- 映像1 A.トフラー，前掲書25）155
映像2，映像3 朝日新聞報道写真集1982，No.20，No.187，朝日新聞社（1982）
映像4 朝日新聞報道写真集1981，No.183，朝日新聞社（1981）
映像5，映像7 報道写真1982，No.84，No.233，中日新聞社（1982）
映像6 世界大百科年鑑1982，前掲書5）64